



柳 和

題字：西澤道生校長先生



平成 29 年 1 2 月 2 5 日 (月)

柳町中学校 2 学年通信

No. 18 担当：中島研一

長い二学期が終わります。

短い秋が過ぎ、今年も一気に気温の低い冬に入りました。二学期は夏、秋、冬と三つの季節の移り変わりがある学期ですが、それも駆け足であったと私は感じています。

さて、今年も後数日となりました。みなさんにとって、今年はどうでしたか？

「今年はこちらするぞ」、「今度こそこうするんだ」と目標を立て、やってきたことかと思えます、締めくくりをあとわずかで迎えるに当たり、しっかりと今年一年の自分自身を振り返っておきたいものです。

二学期を振り返ると、多くの場がありました。運動会、オータムコンサート等々、さらに生徒会の活動や部活動でも3年生から引き継ぎました。また、普段日頃のことでも、地道な活動にもひたむきに取り組む人も少なくありませんでした。床に膝をつき雑巾で拭き込む姿。授業でわかるまで、できるまで課題を追究して自分の納得をつくろうとする姿。まだまだありますが、このように一日のごく当たり前の活動の中にも、素晴らしい成果があったと私は思います。

取り組みを振り返って節目をつくり、今までの自分をとらえなおして、新たな自分に向けて行動することと思います。

「節目」は、竹の節目のようでありたいと願っています。節目がないただの筒は重さが加わると折れてしましますが、節がある竹は、大雪で先が地面に着くぐらいにしながらも、折れずに強いものです。しっかりとした節目をつけることができれば、次に向けて大きく前進できるものと思います。

雨だれ石をうがっ

「雨だれ」というのは、屋根や軒先からぼたぼた落ちる雨の滴のことです。また、「石をうがっ」の「うがっ」とは、穴をあけるという意味で「石に穴をあける」という意味になります。つまり、屋根から落ちる雨だれのような小さなしずくでも、長い間ずっと同じ所に落ち続けると、硬い石に穴をあけることができます。そのことから、小さな力でも根気強く続けることによって、いつかは大きな成果が得られるということです。

最初から努力をしないで大きな成果を得ることができる人はいません。勉強も同じことがいえます。小さな積み重ねを繰り返す事で、将来に向けての力や経験を増やすことができます。そして、その多くのことが将来に繋がっていくと信じています。

しかし、何をやったらよいか見当がつかなかったり、闇雲にただ取り組んだりするだけでは成果を得ることはできません。そのためには、

- 1 自分の目標や目当てをはっきりさせる。
- 2 実現のための自分なりの計画をたてる。
- 3 上手くいかないときは先生や友だち、家族に相談する。

そして、こつこつと継続して取り組んでいきましょう。

もうすぐ新しい年が始まります。今までの自分を振り返り、「こうなりたい」「そのためにこうしたい」などの目標やめあてを持ち、新しい年に備えましょう。

最後に、新年を迎え、新たな決意をもつときがきます。新年になり、今年一年、自分はどのような年にするのか、しっかりと目標を定めてください。かぜをひかず、体調を崩さずに元気でよい年を迎え、休み明けにみんなで会いましょう。

当面の予定

日	曜	1	2	3	4	食事	5	6	行事
26	火	84	85	86	式掃	○	学		2学期終業式
12月27日(水)～1月8日(月) 冬休み									
9	火	掃式	学	66	65	○	64		3学期始業式
10	水	71	72	73	74	○	総		
11	木	81	82	83	84	○	11		2年活用問題調査
12	金	91	92	93	94	○	95	生	生徒会委員会
13	土								アンコン北信B地区大会
14	日								
15	月	1	2	3	4	○	5	町	町別生徒会
16	火	11	12	13	14	○	15	16	
17	水	21	22	23	24	○	25		
18	木	31	32	33	34	○	35		
19	金	41	42	43	44	○	45	生音	生徒集会・音楽集会

3年生への準備と活用問題調査

あと1年あまりで「卒業」となります。中学校3年間はやいですね。

来年は、あっという間に過ぎていくでしょう。

この冬休み、各教科から出ている「冬休みの宿題」を中心に、1、2年生の復習をしていきましょう。

以前にお知らせいたしましたように、1月11日(木)に『長野市活用問題調査(5教科)』があります。数学では「直定規(5cmが測れるもの)」が必要となります。忘れないようにしましょう。

襷(たすき)をつなぐ

平成30年度生徒会の役員選挙が終わり、先日の生徒総会で「新役員の紹介」がありました。

昨日は、全国高校駅伝があり、お正月の2日と3日には「箱根駅伝」があります。私は、ついついテレビ中継に引き込まれてしまいます。駅伝は襷をつなぐことに大きな意味があります。体力・精神力に限界がきてもなかなか途中棄権ができません。棄権はチーム全体にかかわることですから、走者にとっての重圧は計り知れないものがあります。襷には選手全員とそれを支えてきたスタッフ、関係者、OB等々すべての人々の熱い思いが込められています。襷をつなぐことはそれらの人々の思いや心をつなぐことであり、過去や現在やそして未来をつなぐことになり、ます。

その熱い思いを受け継いで、精一杯の走りをする選手の姿が、画面を通して観ている人々の心に伝わってきます。だからこそ多くの人々の心を共感させ、感動を湧き起こすのだと思います。

皆さんには、今の自分から未来の自分へ、そして今の柳町中から未来の柳町中へ、仲間と共に、一つ一つを大事に積み上げながら、襷をつないでほしいと思います。そして、充実した3学期、一年にしてほしいと思います。

